

広域機関システム中地域交流ループ対応（移行設計～リリース）に関する
業務委託の実施及び契約締結について
(案)

1. 本委託の概要

2026年4月に中地域交流ループ運用を開始するため、広域機関システムで必要となる対応について、2024年10月30日開催第482回理事会の第3号議案で議決された「広域機関システム中地域交流ループ対応（詳細設計～立会試験）に関する業務委託」にて本体プログラムの開発を実施中であり、関係箇所と調整が完了したため最終工程の移行設計～リリースの業務を委託する。

本件の委託にあたっては、会計室の随意契約に関する調達業務フローに則り、2017年4月に締結した電力広域的運営推進機関システム開発委託に関する基本契約書に基づき、下表に示す件名にて別紙1のとおり注文書を発行し個別契約を締結する。

2. 調達方法

(1) 調達先選定：随意契約

【理由】

本業務委託は、既存機能を熟知した上で実施する必要があることから、現システムへの知見・理解があり、安定したシステム運用の継続を担保できるのは開発業務および保守業務委託先の株式会社日立製作所のみである。

よって、会計規程第23条第1項（1）契約の性質又は目的が競争入札を許さないときに該当すると判断できるため。

(2) 調達予定先：株式会社日立製作所

3. 契約期間

契約締結日～2026年5月29日

4. 契約の公表

「会計・調達業務の細則に関する規程」第24条の規定に基づき、契約締結後、契約件名、契約先、契約締結日及び契約金額を公表する。

5. その他

(1) 秘密情報の開示 有

秘密情報の契約先への開示にあたっては「電力広域的運営推進機関システム開発委託に関する基本契約」第36条の規定に基づき、適正に管理する。

(2) 再委託 有

再委託にあたっては「電力広域的運営推進機関システム開発委託に関する基本契約」第6条の規定に基づき、指定様式の「再委託承認申請書」を受領し、内容を確認済である。

表 契約概要

件名	広域機関システム中地域交流ループ対応（移行設計～リリース）に関する業務委託
目的	供給信頼度向上、運用容量の増加、コストメリットを目的とした中地域交流ループの形成がマスタープランで示されている。これを実現するためには、広域機関システムの連系線管理機能等の改修が必要である。 現在、詳細設計～立会試験の委託を実施中であり、関係箇所と調整が完了したため移行設計～リリースを実施する。
契約内容	移行設計（移行プログラム開発・移行手順作成・コンティンジェンシープラン作成含む）、新規画面追加（中地域 P0 設定画面・中地域制御用 P0 実績画面）、システム間連携試験、リリース（データメンテナンス・本体プログラム）
契約先	株式会社日立製作所
契約期間	契約締結日～2026年5月29日
契約形態	委託契約（請負）

以 上

【添付資料】

別紙 1：注文書「広域機関システム中地域交流ループ対応（移行設計～リリース）に関する業務委託」

別紙 2：システム仕様書「広域機関システム中地域交流ループ対応（移行設計～リリース）に関する業務委託」

別紙 1、2 は情報管理規程第 4 条（情報の格付の区分）の規定に基づく秘密情報に該当するため非公表とする。